

【症例】31歳, 女性

【主訴】発熱, 胸痛, 呼吸困難感

【現病歴】入院12日前より2日間の発熱あり, 自然に解熱した. 入院6日前より悪寒, 蕁麻疹, 胸部・腰背部・膝部の痛みを伴った40°Cの発熱を認めた. 入院前日の夕方にイブプロフェンを内服し38.9°Cまで解熱した. 午後に当院救急外来受診となった.

【既往歴】15歳よりHCV感染症, 14歳よりヘロイン, コカインの薬物依存症, 過去に薬物乱用防止プログラムに参加したことがあるが常習的に乱用している. その他, 不安神経症, 多汗症, 胆石症, 肺炎, 副鼻腔炎, 腎盂腎炎, 表在性静脈炎,

【家族歴】姉 or 妹 甲状腺疾患, 両親健在,

【生活歴】手, 腕, 足, 背部にタトゥーあり, いくつかは切開やドレナージを必要とした,

※皮膚培養から *Enterobacter cloacae*, コアグラウゼ陰性ブドウ球菌, さらに8ヶ月前にMSSAが検出されている, ルームメイトがいる, かつてホームレスだったことがある,

【嗜好歴】喫煙あり(本数は未掲載), 機会飲酒,

【内服薬】メタドン, イブプロフェン

【薬剤アレルギー】ブプレノルフィン, ナロキソンで薬物離脱症状の出現あり,

【海外渡航歴】数年間にメキシコに渡航したことがある,

【現症】意識清明, BT 37.1°C, BP 105/58mmHg, PR 111/min, RR 18/min, SpO₂ 100%(RA), 呼吸音 湿性ラ音, 心音 整, 下部胸骨左縁に心雑音聴取する, 鼠径部リンパ節腫大あり, 腕, 足, 大腿部に注射痕あり, 明らかな皮膚感染なし, 両側膝部は温かい, 右膝部内側に少量の滲出液と圧痛あり, 可動域はいずれも正常で紅斑なし, T12-L3までの脊柱は柔らかい, その他明らかな異常所見を認めない,

【生理検査】

[ECG] 洞性頻脈, HR 109/min, 明らかな異常なし,

【画像検査】

[胸部レントゲン写真(別紙参照)] 両側肺野で多発性の境界不明瞭な結節影を認める, 最大径は1cm, 心陰影にわずかな拡大あり, 胸水貯留なし,

[胸部CT(別紙参照)] 血管確保が難しかったため, 単純CTにて実施, 両側肺野で結節影を認め, いくつかは空砲形成をしている, 最大径は3.7×2.3cmでm右上葉のmajor fissureに沿っている結節影であった. 両側肺門部リンパ節腫大あり,

【検体検査】

[血液検査] 別紙参照

[妊娠検査] ヒト絨毛性ゴナドトロピンテスト 陰性

[尿検査] 比重 1.020, pH 6.0, ケトン体+/-, alb+/-, uro2+, bil1+

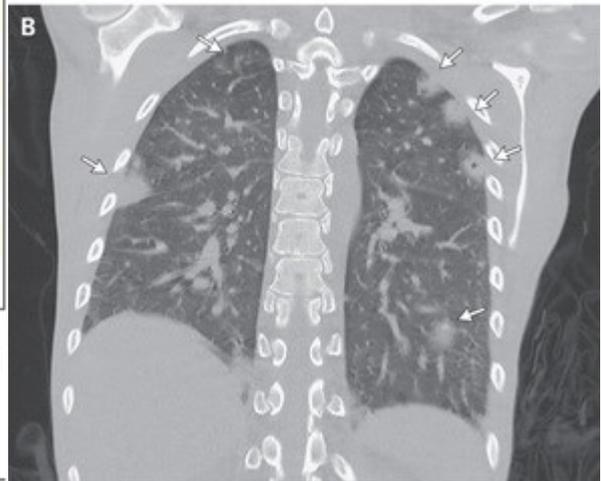
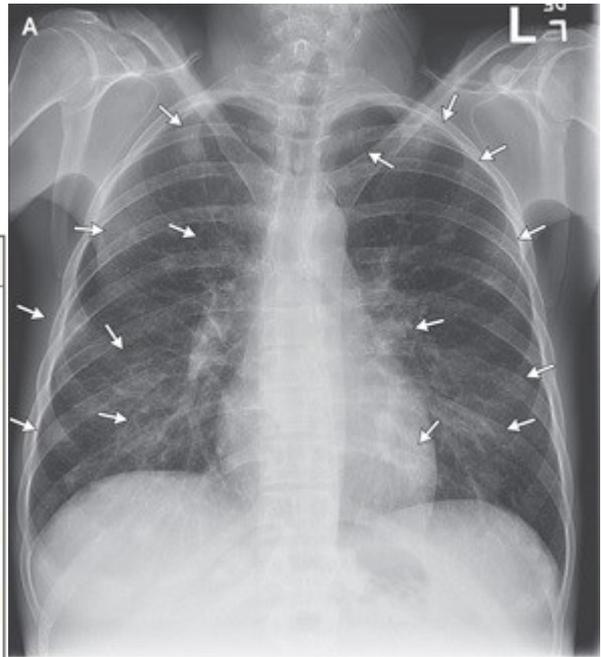
[血液培養] 3セット, 46時間毎に採取.

【入院後の初期対応】

メタドン経口投与, 入院後12時間後に右内頸静脈より中心静脈カテーテルを留置し, CFPM, VCMの投与を開始した.

Table 1. Laboratory Data.*

Variable	Reference Range, Adults†	On Admission
Hematocrit (%)	36.0–46.0	27.8
Hemoglobin (g/dl)	12.0–16.0	9.7
White-cell count (per mm ³)	4500–11,000	10,300
Differential count (%)		
Neutrophils	40–70	89.0
Band forms	0–10	3.0
Lymphocytes	22–44	7.0
Monocytes	4–11	1.0
Mean corpuscular volume (μm ³)	80–100	76
Erythrocyte count (per mm ³)	4,000,000–5,200,000	3,680,000
Smear description		Microcytosis
Prothrombin time (sec)	11.0–14.0	15.1
Potassium (mmol/liter)	3.4–4.8	3.1
Creatinine (mg/dl)	0.60–1.50	0.51
Albumin (g/dl)	3.3–5.0	3.1
Alkaline phosphatase (U/liter)	30–100	332



* To convert the values for creatinine to micromoles per liter, multiply by 88.4.

† Reference values are affected by many variables, including the patient population and the laboratory methods used. The ranges used at Massachusetts General Hospital are for adults who are not pregnant and do not have medical conditions that could affect the results. They may therefore not be appropriate for all patients.